

56期 SDGsレポート

2023 (R5).8~2024 (R6).7



経営理念

「資源に無限の夢を。」

われわれの役割は、さまざまな資源が本来持つ輝きを、
最高の技術と精緻な仕事で引き出し、
時にそれ以上の価値を生み出すことである。

1人ひとりが地球の未来を守る「資源循環のプロフェッショナル」として、
誇りと自負を持ち、
資源に無限の夢を持ち続けていく。

飽くなき探求心と弛まぬ努力を通じて「喜ばれる存在」となり、
そのやりがいや楽しさを
社員全員の物心両面の充足と幸せにつなげていく。

[56期全社スローガン]

シン・アルメックを創造せよ

目次

本レポートについて/ 当社の主な取り組みとSDGsの対応表	3	広報活動	9
健康経営	4	寺前倉庫	11
安全衛生	5	設備投資	12
人材育成(採用活動)	6	56期の振り返り	13
技術開発	7	「会社見学」のご案内	14
社会貢献	8	会社概要/編集後記	15



このレポートはSDGsの観点から1年間の取り組みを振り返り、次の1年の糧とする目的で作成し、同時に「経営品質レポート」「CSRレポート」も兼ねています。

ぜひ様々な視点から本レポートをご覧下さい。取り組みの理解度が増すことと思います。

○当社の主な取り組みとSDGsの対応表

取り組み		対応アイコン	具体的な内容	備考
1	健康経営		・健康経営優良法人認定 ・禁煙週間 ・ウォーキング大会 ・こころの健康づくり計画 ・「あいち健康プラス」アプリ	
2	安全衛生		・安全パトロール ・安全作業標準書整備 ・ヒヤリ・ハット報告書 ・リスクアセスメント ・安全大会 ・身だしなみチェック	
3	人材育成		・新卒採用活動 ・委員会活動 ・社員教育体制の見直し ・女性の活躍	・16年連続の新卒採用実績
4	技術開発		・シュレッダー選別ラインオフライン化 ・ECS選別装置修理 ・パレット製作 ・破砕機防塵対策	
5	社会貢献		・ボランティア活動 ・清掃活動 ・協賛・寄付	・大脇区様ボランティア実施
6	広報活動		・会社見学会 ・出前授業 ・すご〜い工場博 ・各種取材受け付け	・デジタルコンテンツ充実化



継続的見直しと「社員の頑張りが見える化」対策

健康経営に関する56期の課題は「取り組みの見直し」でした。
長年健康経営を行っているうちに新鮮味が薄れ、成果も見えづらくなっていました。

引き続き「心の健康」向上に取り組むとともに、委員会発のイベントを開催して社員の注目を集めるなど、工夫を凝らしました。



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

■「愛知牧場へ行こう！」企画実施



「こころの健康アンケート」ではAS向上委員会の取り組みについても意見を募りました。その中で「牧場にみんなでいきたい」との意見がありましたので実現に向け段取りしました。

当日は社員11名、ご家族23名の計34名が参加、時には全員で、時には家族単位で楽しいひと時を過ごすことができました。社員の意見を取り入れたことで満足度の高いイベントにできたと思います。

■「あいち健康プラス」アプリ導入



社員の健康に関する取り組みをサポートし「見える化」するため、「あいち健康プラス」アプリ導入を進めました。任意ではありますが今後もインストール数を増やすこと、また、得られたデータを活用して全社の取り組み内容に反映させていくのが目標です。

○今期健康経営の取り組み

月	主な取り組み実績
8月	こころの健康づくり計画改訂
10月	秋の禁煙週間 「こころの健康アンケート」実施
11月	西尾保健所様主催「健康経営セミナー」へ参加 大府市主催ウォーキング大会に参加 健康経営優良法人認定 申請書作成・提出
3月	「愛知牧場へ行こう！」イベント開催 健康経営優良法人2024 認定
5月	春の禁煙週間
6月	「あいち健康プラス」アプリの導入
7月	ストレスチェック実施

令和5年度健康づくり推進特別事業研究会 「中小企業でもはじめられる社員が自然と健康になる職場づくりの提案 ～人がよりよい選択を自発的にとれる方法「ナッジ」を活用して～」 ～プログラム～ 日時：令和5年11月27日（月） 午後2時から午後3時30分まで 会場：オンライン又は西尾保健所		
時間	内容	説明者
13:50～	受付（オンライン入室受付開始）	
14:00～14:05	開会挨拶	西尾保健所 沢成 泰雄 様
14:05～15:05	【講演】 「ナッジを活用した健康づくり ～取組に活かすヒントと好事例の紹介～」	帝京大学大学院公衆衛生学研究所 杉本 九美氏
15:05～15:25	【好事例紹介】 「健康経営に取り組んでいる事業所の声を聞いてみよう」	アルメック株式会社 管理部長 野々口 慎 氏 野島 剛史 氏
15:25～15:30	まとめ	
15:30	閉会	





安全衛生の取り組み

安全衛生委員会では前期に引き続き「指摘してくれてありがとう 見守り気配り」をスローガンに掲げて活動を展開してきました。

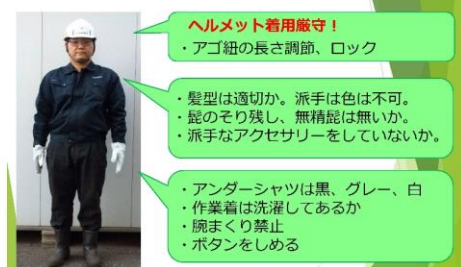
残念ながら事故ケガが多い1年となってしまいましたので、より効果的な安全対策を行うべく取組みの見直しやレベルアップが急務です。

■「身だしなみチェック」開始

6月3日(月)、朝礼の時間に身だしなみチェックを実施しました。事故ケガが続く中、暑い夏が訪れる前に安全意識を向上させるべく、全部門を対象に実施しました。

安全衛生委員会が記録を取り、是正指導の準備もしていましたが、事前発信もあり問題なく完了しました。今後は毎月第1営業日に実施していきます。

身だしなみのルール



■安全管理体制の見直し・強化(全部門対象)

これまでの数々の取り組みにもかかわらず、事故破損が多く、休業を伴う労災事故も発生してしまいました。死者の発生やお客様への影響が無かったのは不幸中の幸いと言えます。

「労働安全衛生対策に終わりは無い」との意識を再度持ち、作業手順書の見直し、リスクアセスメントの実施など原点に立ち返って各種取り組みを展開していくと共に、最も有効なのは「社員同士の声掛け」であるとの認識を基に、「指摘してくれてありがとう」のスローガンの実践を最優先に取り組んでいきます。

あおりを開ける手順(低床)



○今期安全衛生の取り組み

月	主な取り組み実績
9月	防災訓練実施 愛知労働局主催「緑十字展」への参加(計3名)
10月	「安全経営あいち」登録 安全大会
11月	「秋季全国火災予防運動」参加 半田労働基準監督署主催「リスクアセスメント研修」へ参加(1名) 朝夕のアルコールチェック完全実施(全部署)
1月	豊明消防署 普通救命講習受講(計3名)
4月	春の全国交通安全運動への参加 低床取り扱い作業標準書の項目追加
6月	事故・破損・怪我に関わる報告書を全社共有





16年連続採用達成も、取り組み見直しが急務

56期は16期生2名が入社しました。17期生の採用＝2025卒採用も例年通りスタートし、面接官向けのキックオフミーティングを開催するなど意欲的に活動しています。

ところが、2024年3月時点で学生の内定率が40%超と非常に高く、当社の「出遅れ」は否めず、スケジュールの大幅な見直しが求められる事態となりました。

25卒の募集を継続する一方、2026採用は実質的に2024年6月からとなり、早期開始による巻き返しを狙っています。説明会のコンテンツ見直し、大学訪問などレベルアップを着実に進め、「売手市場の中でも選ばれる会社」を目指していきます。

○今期リクルーターの取り組み

月	主な取り組み実績
10月	内定者研修 大学訪問(人間環境大学様)
3月	マイナビEXPO キックオフミーティング実施(社内面接官向け)
5月	大学訪問(中部大学様) 大府市就職フェア
7月	刈谷・大府就職フェア 大学訪問(人間環境大学様)



■女性の活躍について

当社では「女性が活躍できる職場づくり」を目指し、特に現場の作業環境改善に努めてきました。

これまでに寺前に1名、大府工場に2名の女性社員が配属となり活躍していますが、56期には物流部にも女性社員が中途入社、ドライバー不足の中期待の存在です。

今回採用には至りませんでしたが、新卒採用でも「現場で働きたい」という女性の応募がありました。求職者の側でも仕事を性別によって選り分けることが少なくなっているのかなという印象を持っています。引き続き事務系も含め、誰もが働きやすい職場を目指して施策を展開していきます。





既存設備改良と寺前倉庫内の整備

①SHRダスト選別ライン オフライン化

2023年3月よりスタートしたシュレッダーラインの改良(オフライン化)が同年9月に完成しました。

これまではシュレッダーでの破碎と選別を一連の工程で行なっていたため生産性が上がらないことがありました。

オフライン化最大のメリットは、工程を分けることで製品の品質が向上。また、シュレッダーの稼働にかかる人員削減・稼働ハードルの低下、機械不具合などのリスクの分散に繋がります。

また、MIXメタルの選別が可能になる等、多くのメリットがあります。



②ギロチンシャーの刃替え＋修理

これまではパートナー会社に行っていた作業も自社で行うことで社内の技術力向上に繋がりました。

ギロチンシャーの刃替えは長年社内で行っていましたが、今期は配管の不具合も多発。メーカーに依頼すると完了まで半年以上かかる見込みのものを1週間程度で直してしまうなど、エンジニア部門の存在意義を存分に発揮する出来事が多くありました。

今期よりエンジニアリングチームが4名体制になったこともあり、今後の活躍がますます期待されます。



③寺前倉庫内壁の設置

2024年2月、寺前倉庫、倉庫2内の壁設置工事が完了しました。

これにより、安全通路の確保やフレコンを段積みする際の安全度が向上しました。

自社で作成することで、覆工板のケレン塗装のような時間がかかる作業も、実務者との協働により段取り効率化を可能としました。

鋼材価格、作業費等あらゆるものの値段が高騰する中でコスト抑制にも繋がりました。





ボランティア活動の拡大と品質向上

①大脇区様向け 夏祭り準備ボランティア活動

2023年8月6日(日)当社初となる大脇区様向けボランティア活動を実施しました。内容は、夏祭りの準備としてポップコーンを作り、袋詰めするというものでした。

事前に社員3名が作り方のレクチャーを受け、当日は10名が参加し作業に当たりました。ポップコーンは夏祭り会場(大脇神明社)で無料で振舞われ、来場者から大変喜ばれました。

②近崎自治会様夏祭り&駆け馬祭りボランティア

2023年8月11日(土)、近崎自治会様の夏祭り準備、9月23日(土)には近崎神明社にて「駆け馬祭り」の準備ボランティアを実施しました。

どちらも何度か経験させて頂いており、ある程度スムーズに進んだものの、住民の皆さんの高齢化や人手不足感、更には暑さによって作業は年々大変になっているように感じます。アルメックの業務遂行能力を活用して「お祭り準備のマニュアル化」を進め、住民の皆さんやボランティア参加者の作業負担を少しでも減らせるよう工夫していきます。



AS向上委員会 マニュアル作成を推進

前期から取り組んでいるAS向上委員会のマニュアル化について、今期は担当者を設定して更に積極的に進めました。マニュアル化によってノウハウが失われることがなくなります。

さらに、委員会内でLINEによるグループ活動を推進し、月一回の会議では十分ではなかった進捗状況の共有も強化しました。

合わせてボランティア活動における先方での段取り効率化を見据え、社外マニュアルとしてこれまでの経験や注意点をまとめ上げる作業も開始しました。

①近崎自治会様 夏祭り準備ボランティア

- 7月に「ふれあい会館」にて事前の段取り会議、管理部門長が参加して様子を。
- 作業日は概ね8月の第1土曜日。資材の搬出、やぐらの組み立て等を実施。

②駆け馬祭り準備ボランティア

- 近崎神明社にて実施
- 主に倉庫から神社へ丸太の運搬、縄の紐付け、柱を立てる穴を掘る等の作業を実施。

③社会福祉協議会様クリスマス会

- 会社が「サンタプーン」の資材をしているので写真撮影で訪問する。

近崎自治会様夏祭り 準備マニュアル

- 概要
 - 毎年8月の第1土曜日に開催。事前の段取り等は別紙マニュアル参照のこと。
- 作業内容
 - 場所は「近崎ふれあい会館」 8:00~11:00(目安)
 - 〒474-0003愛知県大府市神田町6丁目354 0562-48-7010

- ①倉庫から駐車場へ資材を運ぶ
- ②入退場門の設置
- ③終わり次第、または状況を見て
 - ・やぐらの組み立て
 - ・テントの組み立て

(本間、高木氏の監修による)



続々と見学・取材依頼が舞い込む。

①メ〜テレ様取材 **SUCCESS**

2023年11月20日(月)、メ〜テレ様制作の番組「SUCCESS」※の取材をお受けしました。

当日は事業内容や今後の展望、寺前倉庫について、社長の想いなどを時間が許す限り撮影しました。本編は2023年12月16日(土)7時55分より放送されました。

※東海地区を中心に活躍する企業が出演し、会社にかかる想いや事業を紹介する番組



②「へきかいレポート」取材

2024年3月7日(水)、碧海信用金庫様が発行されている「へきかいレポート」の取材をして頂きました。「へきかいレポート」は3か月ごとに発行される、碧信様の営業エリアに密着した話題を提供する広報誌です。

星河社長、星河専務より、「創業からの歩み」「財産は人」「社員同士や地域の人々との交流について」等をテーマとしてお話しさせて頂きました。

取材結果は2024年4月号にて、4ページにわたって掲載されました。

SPECIAL INTERVIEW
豊明支店お取引先
アルメック株式会社 代表取締役社長 星河 秀樹 氏 (60歳)
専務取締役 星河 重仁 氏 (50歳)

愛知県豊明市を創業の地とし、愛知県大府市に本社を構えるアルメック株式会社は、自動車の電装部品などを製造する際に発生する端材や建築廃材を原材料として買い入れ、適切に選別・加工し、再生原料として販売している「資源製造供給会社」です。「資源に無限の夢を。」という経営理念に込められた想いや、「人を何よりも大切にしている」と語る星河社長にお話を伺いました。

Hekikai Report

社内エンジニアが独自設計したシュレッタープラントを設置 複合品を粉砕することにより、より精度の高い資源選別が可能に

―創業からの歩みと事業内容について教えてください。―
1959年、私の祖父である星河仙吉が創業しました。当時はまだ「リサイクル」という言葉はありませんでしたが、鉄スクラップに限らず、古新聞、古布、段ボール、ガラスなど、さまざまな廃品回収を行っていたようです。そのなかで、将来性のある分野に事業を特化しようとして、鉄・非鉄スクラップ業へと一本化しました。仙吉の言葉に「びまは宝の山」というものがありますが、高度経済成長に伴い、自動車関連をはじめとする工業製品の製造が活発となる時代において、鉄などの資源が豊かになる時代が来ると読んでいたのです。

現在は鉄と銅・アルミ・ステンレスといった非鉄金属の両方を取り扱っており、さまざまな加工設備によってお客様の要望に応じた製品を迅速に提供しています。また、金属とプラスチックが一体となった製品を構成している「複合品」が近年増えており、これらを適切にリサイクルするために「シュレッター(粉砕機)プラント」を備えています。複合品を細かく砕いて鉄原料と非鉄原料に分けることで、その後の資源分別がより精密になり、スムーズになっており、お客様からも高評価をいただいております。粉砕効率が上がるよう、自社のエンジニアが設計し、特許も取得しています。さらに水の上下変動を利用した比重選別装置を組み込んだ「非鉄ビックアップライン」は、粉砕した原料を種類ごとに分けるためのものですが、環境負荷の軽減と資源循環型社会の形成に貢献している点が評価され、愛知環境賞・優

秀賞を受賞しています。カーボンニュートラルや資源安全保障などの重要性が今後ますます高まってくると思いますが、同時に当社が果たすべき役割の重要性も高まります。あらゆる資源を再生し、地域やお客様をはじめとする社会へと還元していきたいと考えています。

―「財産は人」というアルメックの、人材育成について教えてください。―
仕事を遂行する上では「技術と人間力」の両輪が必要不可欠です。いくら技術や設備を保持していても、それを活用して社会へと還元するのは「人」。人間力を磨き続けなければ、地域やお客様から求められる良いアウトプットはできません。そこで、2008年から社内読書会事務局を立ち上げました。月刊誌「致知」を全社員に配布し、その感想文を書いてもらうという取り組みで、チーム内でそれぞれの感想文を発表して代表者を出し、次に全員の前で発表します。発表の後、チームリーダーは所感を述べ、役員が総括という流れで毎月実施しており、2024年2月に170回を突破しました。一歩を究めた先達の経験や想いに触れることで、さまざまな気づきを得られるほか、感想を話し合うことで皆の意識を高め合うことができます。「具体的な業務内容は異なっても、求められる志や気持ちの持ちようはどの仕事でも変わ

資源の価値を高め、社会へ還元するために。 それぞれが能力を高め、意識を共有するプロ集団

①豊鋼会様、資源循環協会様より表彰

2024年4月17日(水)、愛知製鋼株式会社殿の調達先企業で構成される「豊鋼会」通常総会にて「特別貢献賞」の表彰を受けました。

「加工受託業務」を通じての愛知製鋼様業務への貢献を評価していただいたものです。

また、2024年6月10日(月)に愛知県資源循環協会様より「優良事業所」として表彰を受けました。



②マレーシア生産性本部様来社

2024年2月5日(月)マレーシア生産性本部の会員企業の方27名が来社されました。

日本生産性本部様に訪問企業について打診があり、アルメックを紹介して頂いたとのことでした。

言葉の壁がありご期待に応えられるか心配していましたが、通訳の方の的確なご対応により適切に意思疎通を図りつつ当社取り組みをご紹介できました。



③「おおぶふれあいゼミナール」開催

2024年7月26日(金)「おおぶふれあいゼミナール」の出展企業として会社見学会を開催しました。

当日は4組のご家族様と大府市及び大府商工会議所の担当者様がご来社になり、スライドを使った座学や金属の選別体験、アルメックミュージアム見学などを行いました。特にミュージアム見学は思い思いに展示をご覧頂き、楽しんで頂けたと思います。



④「カーボンオフセット」の取り組みが取り上げられました



CO₂排出量の可視化に取り組むスタートアップの㈱テックシンカーから、カーボンオフセットに関する提案が市にあり、市が市内企業に呼び掛け、ゼロカーボンを進めるアルメック㈱とマッチングしました。

アルメック㈱は、自社の努力では削減しきれない温室効果ガス排出量を、他の場所での削減・吸収活動を支援することにより埋め合わせる「カーボンオフセット」を実施。木曽三川流域の保全と水の安定供給を目的とした「水源の森づくりプロジェクト」を支援する形で行うため、自社の脱炭素化だけでなく、地域の水資源確保や多発する災害対策に寄与しました。

INTERVIEW 多様な分野でスタートアップと連携していきたい

カーボンオフセットに関心があったので、㈱テックシンカーを紹介してもらいました。㈱テックシンカーは、単純にカーボンオフセットの取引を自社に代わって行うだけではなく、特設サイトを作って社会へと発信してくれました。自社だけでは、スタートアップとつながるのは難しいと思うので、今回のマッチングは、非常にいい機会になりました。今までの常識ではできないことを覆していく点にスタートアップの役割があると思うので、今後もさまざまな分野で連携していきたいです。

アルメック㈱ 管理部次長 野々口慎さん

「広報おおぶ」2024.7月号
その他、大府商工会議所の
会報でも取り上げて頂きました



寺前倉庫竣工 本格稼働開始

2022年10月28(金)に地鎮祭を執り行った寺前倉庫ですが、2023年11月14日(火)に竣工式を、12月2日(土)に関係者をお招きしてオープニングセレモニーを挙行了しました。

3月中旬より本格稼働を開始、入出荷が始まりました。



倉庫1

- ・床面積: 1,702㎡
- ・取扱品目: 新断・ポンチ その他鉄系
- ・設備: 天井クレーン



倉庫2

- ・床面積: 1,887㎡
- ・取扱品目: 非鉄金属各種
- ・設備: ホイストクレーン3基

■管理部「寺前ジョブローテーション」開始

2024年3月の本格稼働開始に伴い、管理部では豊明工場の1名を寺前に異動とし、終日寺前倉庫勤務を開始しました。

管理部ではこの措置に向けて今期期首よりアクションプランにて①豊明業務の引継ぎ②寺前倉庫の作業環境整備③寺前倉庫での業務確立等を主な課題として取り組んできました。

準備の甲斐あって順調な滑り出しを見せましたが、ありがたいことに1名だけでは対応が難しくなる場面も出始め、次なる対策として「大府管理部からの応援投入＝ジョブローテーション」を開始しました。今後は拠点にとらわれず縦横無尽に活躍していくのが部門全体の目標です。



月々	導入設備
9月	ミライース 2023.9.21
3月	ZX330LC-6(重機) 2024.3.14
寺前倉庫関係の設備導入(順不同)	
[事務所]	
デスク・オフィスチェア一式 複合機 キャビネット アルコールチェッカー	
応接室ディスプレイ 休憩室ロッカー、ソファ、テーブル インターネット機器	
清掃道具一式 文房具一式(筆記用具、ファイル、ラミネーター等)	
[倉庫]	
食堂テーブル・チェア一式 冷蔵庫 会議用プロジェクター	
ロッカー シューズボックス ヘルメットホルダー セキュリティシステム	

▼ミライース(お客様先対応)
2023年9月21日導入



▼ZX330LC-6
2024年3月14日導入



今期は寺前倉庫関連の設備投資が多数ありました。当社にとって新たな拠点をゼロから立ち上げるのは大府工場開設以来のことであり、手戻りの無いよう工程管理をしっかりと行いつつ、必要なものから順次整備を進めていきました。

・従業員数の推移

	期首	入社	退社	期末
正社員	58	6	2	62
嘱託等	8	0	1	7
合計	66	6	3	69
(大府)	49	5	1	46
(豊明)	17	0	1	10
(寺前)	0	1	0	13

・新入社員(期末時点在籍者のみ)

- [新卒]:2名
・2024年4月1日入社
 管理部・物流部 各1名
- [中途]:3名
・2024年3月1日入社
 管理部
・2024年4月15日入社
 寺前倉庫(物流)
・2024年5月7日入社
 大府工場



※入退社には定年退職による再雇用者を含む



月	日	項目
8	5	社員総会
	6	大脇区様ボランティア
	11	近崎自治会様ボランティア
9	23	駆け馬祭りボランティア
	25	安全大会
	27	消防訓練
10	2	内定式・内定者研修
	6	豊明市立三崎小学校様 出前授業
	23	改善発表会
11	14	寺前倉庫 竣工式
	15	M社様にて勉強会実施
	20	メ〜テレ様取材
	22	花阪組様来社
	26	ウォーキング大会
12	2	寺前倉庫 オープニングセレモニー
	14	寺前倉庫 記念植樹
	23	豊明市社会福祉協議会様 クリスマス会
	28	終了式
1	5	安全祈願祭・新年会
2	5	マレーシア生産性本部様ご来社
	20	半期成果報告会
3	1	マイナビEXPO
	10	「愛知牧場へ行こう！」企画実施
4	1	入社式
	17	豊鋼会様 表彰式
6	10	資源循環協会様表彰式
	15	創業65周年アルメック家族会Ⅱ
7	16	新人教育のための工場見学(営業部・管理部)
	19	新入社員歓迎健康経営BBQ大会
	26	「おおぶふれあいゼミナール」参画

アルメックは 創業65周年を迎えました

2024年4月、アルメック株式会社はおかげさまで創業65周年を迎えることができました。

これもひとえにお取引先様はじめ関係者の皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

今後もお客様にとって「なくてはならない存在」となれるよう精進してまいりますので、引き続き変わらぬご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。



「会社見学」のご案内



当社では「会社見学」を随時受け付けております。2020年2月には創業60周年を記念して企画した「アルメックミュージアム」がオープン。金属資源の製造供給業務や当社の歴史について、わかりやすくご紹介しています。約70名収容可能な研修ルーム「グリーンホール」も完備しております。是非一度ご来社下さい。



アルメックミュージアム

創業60年を機に、リサイクル業の枠を超え自らを「資源製造供給会社」と位置づけ、経験と実績、業界最高水準の技術力の共有、リサイクル業界全体の底上げを目的に、【アルメックミュージアム】を開設しました。



サンプルやパネルなどの展示にとどまらず、大型ディスプレイやプロジェクションマッピング、アニメーションなど最新技術を活用した動きのある展示を工場見学と合わせて体験していただくことで、より深く、資源製造の過程をご理解いただけます。



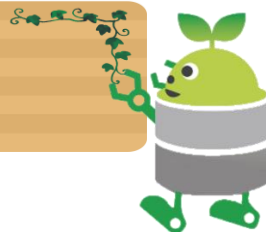
お客様向けセミナーの様子

また、当社では金属資源の製造供給業務に限らず、各種取り組みについてご紹介ができます。お気軽に当社営業担当までお声かけ下さい。

- ・「健康経営」導入、運用について（健康経営優良法人、愛知県健康経営推進企業）
- ・社員満足度向上について（直近の社員満足度：80.4%）
- ・新卒採用について（16年連続新卒採用実績あり）
- ・読書会「木鶏クラブ」について（社内木鶏クラブ全国大会「感動賞」受賞）
- ・女性の活躍について（あいち女性輝きカンパニー）



会社概要



■基本情報

本社所在地 (豊明工場)	〒470-1153 愛知県豊明市前後町三ツ谷1361番地
TEL	(0562) 97-7215
FAX	(0562) 97-8181
代表者	代表取締役社長 星河 秀樹
資本金	1,000万円
従業員	69名(2024年7月末日現在)
創業	1959年(昭和34年)
事業内容	・製鉄原料加工及び販売 ・一般建設業(とび、土工) ・産業廃棄物処分業 ・産業廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物再生事業

■大府工場

所在地	〒474-0001 愛知県大府市北崎町遠山143番地
TEL	(0562) 44-1159
FAX	(0562) 44-3789

■寺前倉庫

所在地	〒470-1161 愛知県豊明市栄町寺前11番地1
TEL	(0562) 57-5011
FAX	(0562) 57-5012

■宮崎事業所

所在地	〒885-0006 宮崎県都城市吉尾町2136番地1
TEL	(0986) 38-5720



～編集後記～

今期も無事「SDGsレポート」通算第8号を完成させることができました。

第56期は何といっても寺前倉庫の完成・本格稼働開始という大目標に向け、全社一丸となって取り組んできました。大府工場以来の新規拠点開設は、当社にとって新しい発想・気づきを与えてくれるものとなりました。

決算期変更に伴い第57期は3ヶ月のみとなりますが、第58期「シン・アルメック」スタートに向けて重要な準備期間と捉えています。次回SDGsレポートは57・58期合併号です。

アルメックがますますお客様に喜んで頂ける存在となれますよう、引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

管理部